

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

= うつくしい

第8号

うづぐすえ

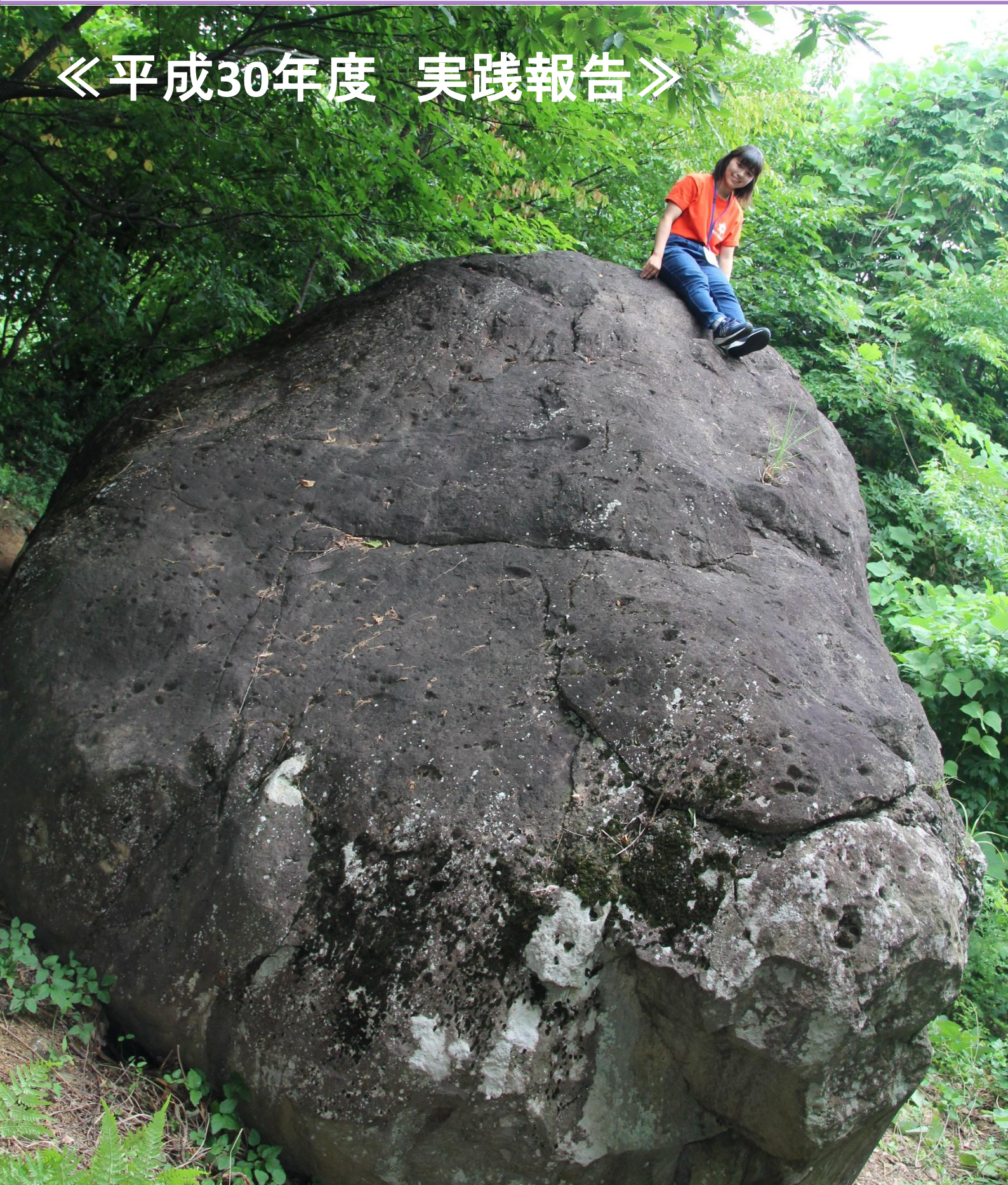
平成31年 3月

発行：東北文教大学 地域連携

ボランティアセンター

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会

《平成30年度 実践報告》



実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動

実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

平成30年7月16日に第1回、9月29日に第2回、10月28日に第3回のバスツアーを実施しました。「自然・歴史まるぐマップ」では、①自然・茂吉コース、②いにしへの郷コース、③羽州街道コースの3つのコースを作成しましたが、30年度のバスツアーでは、これら3つのコースの中から9つの名所をピックアップし、3回とも同じコースで周遊しました。しかし、平成31年度の計画では、まるぐマップで作成した3つのコースをそのまま活かして、3回のバスツアーを計画しておりますので、毎回異なる場所を周遊する予定です。また、全ての回で、昼食を挟んでのツアーを計画中です。前年度ご参加いただいた方も、初めての方も奮ってご参加ください。



行在所(渡辺久右エ門家)

◇ 平成31年度 野外ミュージアム巡り(バスツアー) 予定 ◇

第1回 自然・茂吉コース

日時：4月20日(土) 9:00~15:00

須川の埋没林、津金沢の大スギ、愛染神社、狼石、はらっぱ館、松原神明神社、松原不動尊、福田神社

第2回 いにしへの郷コース

日時：未定(8月頃)

金井稻荷神社、片谷地の地蔵尊、地蔵寺、円龍寺、イザベラバードの常盤橋、氷河期の埋没林、念力寺、片谷地の一本スギ、甲箭神社、古峯神社・石割桜、谷柏古墳群

第3回 羽州街道コース

日時：未定(9月・10月頃)

下間屋跡、長秀寺、松原番所跡、上間屋跡、金井村役場跡、一里塚跡、渡辺久右工門家、くろさわ温泉 須川河川敷公園

※コース内容や順番は若干変更の可能性がございます。なお、お申し込み、内容の詳細につきましては、各回チラシを発行しますので、そちらをご覧ください、お申込み下さい。

PICK UP! 南山形小学校とのつながり

南山形小学校からの依頼を受け、6年生の地域学習の一環として、プロジェクト協力委員、教職員、学生ボランティアと共に、「自然・歴史まるぐマップ」を活用しながら地域を歩き、「南山形地区の魅力」について学びました。

普段住んでいても意外と知らない地域のこと。南山形地区には豊かな自然と歴史が隠れています。子どもたちは、元気いっぱい、興味津々で、地域の方々や学生、教職員と共に楽しみながら真剣に学びました。そして、この学びの成果は、小学校の学習発表会で披露されました。



DVD おもしろえがらみでけろず～南山形自然探訪 完成！



三部作構成の南山形探訪、最後のDVD「おもしろえがらみでけろず～南山形自然探訪」が完成しました。

本作では、南山形地区の「自然」をテーマに、四季折々の美しい南山形の風景を撮影してきました。春・夏・秋・冬と移り変わる南山形の自然をご堪能ください。

見所として、今回の南山形自然探訪では、このシリーズ初となる「ドローン（無人航空機）」を採用し、普段みることのできない上空からの南山形を撮影しました。

3年にわたるDVD班の撮影活動は、これをもって最後となります。ご協力いただきました南山形地区の皆様、本当にありがとうございました。

【ご案内】

私たちが撮影してきたDVD「南山形探訪」は、南山形コミュニティセンターや東北文科大学の附属図書館などに配付させていただいております。また、インターネットからどなたでも視聴することができます。

ぜひ、こちらもお覧いただけると嬉しいです↓

「南山形地区物語」DVD作成・上映活動

URL <http://uzugusue.netj.jp/movie/>



実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

第3回講座シンポジウム「氷河期の埋没林をいかに保存するか」 PART 2

埋没林保存に向けた2回目のシンポジウムは、3名のシンポジストの話はきわめて専門的ではありませんでしたが、わかりやすく、参会者の心を惹きつけ、理解を高める上で大変有意義な内容でした。

山野井徹名誉教授は、須川の埋没林の出現は、いくつかの限られた好条件が重なって発見されたとても貴重なものであること。そこから数多くの歴史的情報が得られること、そして河川の浸食により、刻々と減少する不安定な状況を憂慮し、保存活動が緊急の課題であることを説明してくださいました。

長澤一雄教諭は、地質学、考古学を専門とする元学芸員という立場から、当埋没林は自然系標本で記念物に分類され、科学的意義が高いこと。指定を受けて保存されるまでの手順や関連法令等について自らの鯨類化石の発掘、保存の経験から教えてくださいました。

平塚幸人学芸室長は、仙台富澤遺跡における出土木の現物を持参し、内部の状態の説明と3つの具体的な保存処理方法、そして保存目的について説明してくださいました。また、現代技術を駆使して、バーチャルリアリティの手法や3Dプリンターを使った模型の製作等、人々が見に行きたいという思いを醸成する方法等についてもご提案くださいました。

須藤善友座長は、講座のまとめとして、熱心な参会者からの質問や意見を受け「保存活動に向けた検討委員会の設置」を提案、その意義ある新たな一歩を参加者で確認し、講座を終えました。



大学祭公演

平成30年10月7日(日)文教祭2日目に大学の中庭で行われました。復活1年目から披露して今年で3回目。大学祭では毎年恒例の催し物となっています。毎年1演目の演技を目指しており、3年目の今年は第3演目まで披露することができました。大勢の教職員と学生そして地域の皆さんが見つめるなか、堂々たる演技と地域の皆さんとのコラボレーションに大きな拍手が沸きおこりました。



伝承文化フェスティバル公演

平成30年11月3日(文化の日)、伝承文化支援研究センター主催の「伝承文化フェスティバル」がイオンモール南山形1階中央スペースで開かれました。公演部門と実演・体験部門があり、谷柏田植踊は公演部門に出演しました。公演は2回行われましたが、休日ということもあり、イオンに買い物に来た大勢のお客さんが田植踊りの演技と歌に足をとめ、熱演ぶりに見入っていました。

きらめきの里公演

平成30年12月1日(土)天童市山口地区にある特別養護老人ホーム「きらめきの里」を訪問しました。ホームには介護を必要とする高齢者が入居していますが、当日は施設職員とともに約40名の方々が鑑賞して下さい、目の前で繰り広げられる田植踊りに大きな拍手をいただきました。昨年に続いての訪問ですが、学生にとっても得難い貴重な体験となっております。



プロジェクトのこれから・・・

平成28年度からスタートした本プロジェクトは、平成31年度で4年目を迎えようとしており、お陰様で1年、1年、着実に前進しております。本プロジェクトにご協力・ご支援賜りました皆様に改めて深く感謝申し上げます。

平成31年度から本プロジェクト事業は、山形県の助成金がなくなり、東北文教大学と南山形地区の双方から同額を出し合う財源(計50万円)で行われます。しかし、これまで取り組んできた事業内容は、継続して実践していきます。各実践プランごとこれまで築き上げてきた協力関係や実績を維持しながら、さらに大学・地域の関係強化をはかって充実したプラン内容にしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

今回も「うづぐすえ」第8号をご覧いただきありがとうございます。お問合せの際は右の大学事務局までご連絡下さい。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。<URL : <http://uzugusue.netj.jp/>>

●事務局連絡先

〒990-2316 山形県山形市片谷地515
東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会
東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局
TEL : 023-688-2298